

教会学校 教案ガイド

教師メモやメッセージアウトラインを読む前に必ずディボーションをしましょう。

1. みことば

祈りながら今週のテキスト(聖書箇所)を何度も繰り返し読んでください。また、今週の暗唱聖句を決定して、覚えましょう。

2. 主題の読み取り

今週のみことばの中心テーマを自分のコトバで、1つの文章にまとめて書きあらわしましょう。

例 ○:イエスさまは、弟子たちがイエスさまを救い主と信じるように
カナで奇跡を行いました。(×:カナの婚礼と奇跡)

3. 教えられたこと

今週のみことばを通して、神さまがあなたに語ってくださったことを書きあらわしましょう。

4. メッセージの作成

◇「教師ノート」と「メッセージアウトライン」を参考にしてください。

◇注意深く聖霊さまの導きに従いましょう。

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団 教会教育部

教会の働きのためにご自由にお使いください。営利目的での使用は禁じます。
すべての内容の著作権は、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団教会教育部にあります。

教 師 ノ ー ト

週課	第一年 第一二課 第一週
単元	クリスマス
テーマ	神様に信頼して従う
タイトル	マリヤとヨセフと天使
テキスト	ルカ1:26-38
参照箇所	マタイ1:18-24
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ルカ1:38
AG 日曜学校教案参照箇所	小下1巻クリスマス 小下2巻クリスマス 幼2巻2題2課 幼1巻2題1課

□導入

今月のお話は、神様がイエス様をどのようにして、この世界におくられたのかを聖書からみていきます。今日のお話に登場するのは誰だかわかりますか？イエス様のお父さんとお母さんになる人のお話です。

□ポイント1 マリヤさんのもとに天使があらわれました

ガリラヤのナザレという町に、マリヤさんという女の人が住んでいました。マリヤさんは神様を愛し、毎日神様に喜ばれる生活をしていました。彼女は大工をしていたヨセフさんと婚約していました。マリヤさんは、ヨセフさんと結婚が決まっていたので、これからのことなどいろいろと考えながら、毎日幸せに生活をしていました。

そんなある日のことでした。神様から遣わされた天使ガブリエルが、マリヤさんのところへ突然あらわれました。そしてマリヤさんに向かって「マリヤよ」と呼びました。マリヤさんは驚いてふり向きしました。マリヤさんが見ると、そこには白く輝く天使が立っていました。天使の着物は雪よりも白く、その顔は美しく輝き、マリヤさんにほほえんでいました。

そして天使はこのように言いました。「おめでとう、恵まれた方。神様があなたと一緒にいらっしゃいますよ」マリヤさんは、あまりにも突然のことだったので、「おめでとう、恵まれた方」と言われても意味がわかりませんでした。そしてこのあいさつは何のことだろうかと、考え込んでいました。

□ポイント2 マリヤさんは天使の言葉を受け入れました

すると天使が言いました。

「マリヤ、怖がることはありません。神様はあなたに素晴らしいことをしてくださるのです。あなたはすぐに赤ちゃんが与えられます。そして男の子を産みます。その子の名前をイエスとつけなさい。その子は『神の子』と呼ばれます。」

マリヤさんはびっくりして答えました。

「どうしてそのようなことが起こるでしょう。私はまだ結婚もしていないのです。」

すると天使が言いました。

「マリヤ、よく聞きなさい。聖霊があなたの上に臨んで、聖い神様の力があなたのうちに命を創造されるのです。ですから、生まれてくる子どもは聖い者で、神の子と呼ばれます。」

「あなたの親類のエリサベツも、あんなに年を取っているのに赤ちゃんが与えられたのですよ。神様にできないことは一つもありません。」

最初、マリヤさんはどうして救い主の母になるのかわかりませんでした。けれども、天使のことばを信じました。そしてはっきり答えました。

「確かに私は神様の前に小さな者にすぎません。すべて神様の言われたとおりにいたします。どうぞいま

言われたとおりになりますように。」

マリヤさんがこう言うと、天使は見えなくなりました。

□ポイント3 ヨセフさんは夢の中で天使に会いました

マリヤさんの上に聖霊が臨んで、聖い神様の力で赤ちゃんが与えられました。このことを婚約者のヨセフさんは知りました。ヨセフさんは本当にビックリしました。

ヨセフさんは正しい人であったので、マリヤさんに赤ちゃんが与えられたことがみんなに知られる前に、そっと別れる決心をしました。それはヨセフさんなりの優しさであり、マリヤさんにとって一番良いことだと思ったからです。

ところが、このように考えていると、その夜に神様からつかわされた天使が夢に現れて言いました。

「ダビデの子ヨセフよ、恐れなくてマリヤを妻として迎え入れなさい。マリヤに与えられた赤ちゃんは聖霊によって宿ったのです。やがてマリヤは男の子を産みます。その生まれた赤ちゃんにイエスと名前を付けなさい。この方は人々を罪から救ってくださる方です。」

これらの出来事は、むかし神様の預言者を通して言われていた「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」ということが実現するためでした。

ヨセフさんは眠りから覚めると、天使の言葉を信じて受け入れました。そして言われたとおりに、マリヤさんと結婚することにしたのでした。

□結論 マリヤさんもヨセフさんも神さまのご計画を受け入れました

マリヤさんは天使から神様のご計画を聞いたとき驚きましたが、

「おことばどおりこの身になりますように」と、神様のご計画に従う信仰をいいあらわしました。

ヨセフさんも、マリヤさんに赤ちゃんが出来たとき、はじめはそのことを受け入れることができませんでしたが、夢の中で天使から神様のご計画を聞いて、マリヤさんと結婚したのです。

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

1. マリヤさんの心の中にも、ヨセフさんの心の中にも、自分たちの身に起こったことに対して本当の解決はありませんでした。でも、天からその解決が示されたのです。

私たちの中にも、自分の力ではどうすることもできないことにぶつかることがあると思います。そんなとき、神様は必ず答えを下さるお方です。そのことを信じてお祈りしましょう。

2. マリヤさんもヨセフさんも、神様のご計画が知らされたとき、その神様のご計画を信じて従いました。ですから神様は素晴らしいことをなさって下さったのです。

神様は私たち一人一人にも素晴らしい計画をもっています。その計画を実現させるためには何が必要なのでしょうか？マリヤさんとヨセフさんが従ったように、私たちも神様の計画を受け入れて従うことが大切です。神様がしなさいと言われたことには、従えるようにお祈りしましょう。

教師ノート

週課	第一年 第一二課 第二週
単元	クリスマス
テーマ	天使の証し
タイトル	罪からの救い主
テキスト	マタイ 1:18-25、ローマ 7:18-8:4
参照箇所	
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	マタイ 1:21
AG 日曜学校教案参照箇所	
□導入	
	楽しいクリスマスを迎えるには、主役のイエス様についてよく知っていることが必要です。イエス様とは、どのようなお方でしょうか？イエス様はなぜお生まれになったのでしょうか？そして、イエス様をどのようにお祝いしたら良いでしょうか？
☞	今回は、三つのポイントに分けて「救い」について学びます。1. イエス様は救い主、2. 人間には罪からの救いが必要、3. イエス様は人間を罪から救うことができる。
□ポイント1 イエス様は私たちの救い主です	
	マリヤはヨセフと結婚する約束をしていました。しかし、二人が一緒に生活を始める前に、マリヤのお腹に赤ちゃんが宿りました。マリヤは聖霊によって赤ちゃんが宿ったことがわかっていましたが、ヨセフはわからなかったため、とても悩みました。ヨセフはマリヤが間違いをしたと思って、他人に知られる前に別れようと決めました(マタイ1:18,19)。
	ヨセフがそのことを考えている間に、ヨセフの夢の中に天使が現れました。天使はヨセフにも神様からの特別な言葉を伝えるために、夢の中に現れたのです。天使はこう言いました。「ヨセフ。恐れなくてマリヤと結婚しなさい。マリヤの赤ちゃんは他の男の人ではなく、聖霊によって宿ったのです。マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です。」(マタイ1:20,21)
	天使はヨセフに、マリヤの赤ちゃんが救い主であることを知らせました。「イエス」という名前は、「主は救いである」という意味です。そして、イエス様は私たち人間を「罪から救ってくださる方」と言いました。
☞	ヨセフは、婚約中の処女が他の男と性交渉した場合、二人とも石打ちにより死刑に処されるという律法の規定(申 22:23,24)を知っていて、マリヤの命を救うために内密に去らせようとしたと考えられます。
☞	「イエス」とは、ヘブル語の「ヨシュア」のギリシア語名であり、「ヤハウエ(主)は救いである」を意味します。「イエス」は、バビロン捕囚後のユダヤ人のうちによく使われていた名前です(出典:『旧約新約聖書大事典』より「イエス」、教文館、1989年)。

□ポイント2 私たちは“罪”を解決することができません

天使はイエス様のことを「罪から救ってくださる方」と言いましたが、“罪”とはいったい何でしょうか？

私たちは約束を守ることは良いこと、約束を破ることは悪いことだとわかっています。友達と遊びに行く約束をすれば、約束通りにするのが良いとわかっています。だけど、約束の時間に遅れて行ったり、約束を忘れて遊びに行かなかったりする場合があります。それは約束を破ることで、悪いことです。

私たちは良いことをしたいと思いますが、かえって悪いことをしてしまうことがあります。それは、私たちが“罪”に縛られているからです(ローマ 7:21-23)。私たちは罪のために、思った通りに良いことをすることができないのです(ローマ 7:18-20)。私たちは自分の力では罪から自由になることができません。私たちに“罪から救う”救い主が必要です(ローマ 7:24)

例話：江戸時代に本居宣長という学者さんがいました。本居さんはとっても真面目な人で、自分が悪いことをしてしまったと思ったら、床に釘を打ちつけました。嘘をついてしまったり、優しく出来なかったり、困っている人を助けることが出来なかったり、誰かの悪口を言った時、正直に釘を打ちつけました。そして良いことをしたと思ったら、その釘を抜いていきました。本居さんは、一生懸命に良いことをして釘を一本一本抜いていき、ある時、全部の釘を抜くことが出来ました！しかし全部の釘を抜くことが出来ても、たくさんの釘の跡がしっかりと床に残っているのを見つけました。どんなに良いことをしても、自分がしてきた悪いことを帳消しにすることが出来ないということが分かったのです。

□ポイント3 イエス様は私たちが罪から救うことができます

神様は私たち人間が罪に縛られていて、救い主が必要であることを知っておられます。そのため、神様は私たちが救うためにイエス様を遣わしてくださいました。イエス様は私たちのうちから罪を取り除いてくださいます(ローマ 8:3)。

また、イエス様は私たちが罪の力から自由にしてくださって、悪いことをしなくて済むようにしてくださいます(ローマ 8:2)。

それだけでなく、私たちはイエス様の力で良いことをすることができるようになります。それは、イエス様のうちにある聖霊の力が私たちにも与えられるからです(ローマ 8:4)。

□結論 イエス様を信じて、罪から救っていただきましょう

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

私たちは「良い子になりたい」と思っても、なかなか思ったとおりに良い子になることができません。それは、私たちは罪に縛られているからなのです。私たちは自分の力では罪から自由になることはできませんが、イエス様は私たちが罪から自由にすることができます。イエス様は私たちが罪から救う“救い主”であるからです。私たちも救い主イエス様を信じて、罪から救っていただきましょう。

1. 誰にも言えなくて悩んでいることがありますか？
2. 恐れていることはありませんか？（「死ぬこと」は怖くない？）
3. みんなの心の中に罪はありませんか？（盗み？カリパク？ウソ？意地悪？無視？友だちが困っているのに何もしない？お父さんやお母さんに隠していること？・・・）

* イエス様は、罰を与えるために、叱るために生まれたのではなく、悩み、恐れ、罪から救うために生まれました。イエス様に正直に告白して、「助けて下さい。赦して下さい。ゴメンナサイ。救って下さい」と一緒に祈りましょう。

教 師 ノ ー ト

週課	第一年 第一二課 第三週
単元	クリスマス
テーマ	クリスマスの備え
タイトル	ベツレヘムでの住民登録
テキスト	ルカ2:1-7
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) 黙3:20 or マタイ11:28 or ルカ6:31
AG 日曜学校教案参照箇所	幼1巻2題2課 幼1巻2題3課 幼1巻2題4課 小上1巻3題1課 小上1巻クリスマス
□導入	<p>先週のお話は、婚約中だったマリヤさんとヨセフさんが、なんと、天使から「イエス様のお父さんお母さんになりますよ。」という神様の計画を知らされました。そして2人はその天使からの言葉を信じて受け入れました。</p> <p>今日のお話はそのつづきのお話です。さあどうなるのでしょうか？</p>
□ポイント1 マリヤさんとヨセフさんはベツレヘムに向かいました	<p>マリヤさんとヨセフさんが神様のすばらしい約束をうけてから、何か月もたったある日のことでした。ローマの皇帝から命令がありました。それは住民登録の命令でした。すべての人が自分の先祖の故郷で登録をしなければなりませんでした。</p> <p>ヨセフさんは王家の血筋だったので、いま住んでいるガリラヤのナザレから、ダビデ王様の出身地であるベツレヘムに行って登録をしなければなりませんでした。</p> <p>ヨセフさんはマリヤさんの事を考えました。</p> <p>「マリヤはいま赤ちゃんがいて、おなかが大きくて心配だ。一緒に行くのは無理じゃないかな？でも一人で留守番をさせることは、もっと心配だ。」</p> <p>ヨセフさんはいろいろと悩みましたが、マリヤさんも一緒に連れていくことにしました。</p> <p>マリヤさんは、荷物をまとめて、長い旅行の仕度をはじめました。間もなく二人は、ベツレヘムに向かって出発しました。</p>
□ポイント2 マリヤさんとヨセフさんはベツレヘムに到着しました	<p>ヨセフさんは、おなかの大きなマリヤさんを小さなロバに乗せて、岩だらけの道をゆっくりと進みました。</p> <p>ベツレヘムまでは100kmぐらいありました。丘を越えたり、谷を通ったりして、長い旅行でした。ヨセフさんはマリヤさんのことを心配しながら歩きました。</p> <p>数日後の夕方遅くに、ヨセフさんとマリヤさんはやっとベツレヘムに到着しました。マリヤさんはとても疲れていて、すわってられないくらいでした。</p>
□ポイント3 ヨセフさんはベツレヘムで泊まる場所をさがしました	<p>ヨセフさんは、すぐにマリヤさんのために今日泊まる場所をさがしました。宿屋をまわって空いている部屋があるかどうかをたずねたのでした。</p> <p>「こんばんは。今日泊まれる部屋はありますか？」すると宿屋の主人は「お気の毒ですが、部屋はありません。」</p> <p>ヨセフさんは次の宿屋へ行きました。</p> <p>「こんばんは。私たち二人が泊まれる部屋はありますか？」宿屋の主人は答えました「お気の毒ですが、部屋はいっぱいです。ほかの宿屋をさがしてください。」</p>

宿屋はどこもいっぱい泊まる場所がありません。ベツレヘムの町にはたくさんの方が住民登録をするために、いろいろな町からやって来ていたのです。

ヨセフさんは困ってしまいました。マリヤさんは、おなかに赤ちゃんがいてこの旅行で疲れていたからです。急いで何とかしなければなりません。

ヨセフさんは他の宿屋へ行きました。

「こんばんは。私たち二人が泊まれる部屋はありますか？妻のマリヤのおなかに赤ちゃんがいて、もう生まれそうなんです」

宿屋の主人はヨセフさんが困っているのを見て、「家畜小屋ならありますが、そこなら奥さんのために寝床を作ってあげてもよいですよ」と言いました。

ヨセフさんは親切な主人に「ありがとうございます。家畜小屋でかまいません。今晚はそこに泊まらせて下さい」と言いました。

□結論 マリヤさんとヨセフさんは家畜小屋に泊まりました

ヨセフさんとマリヤさんは家畜小屋に案内されました。マリヤさんはやっと横になることができました。

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

ベツレヘムの町には住民登録のためたくさんの方がやってきていました。そのために、宿屋はどこもいっぱいヨセフさんやマリヤさんは、泊まることができませんでした。

1. 救い主がやって来られようとしていたのに、忙しさのあまり、誰一人そのことに気がつきませんでした。ここに出てくる宿屋というのは、私たちの心の中をあらわしています。

この時、宿屋の中はたくさんのお客さんでいっぱいになっていました。それと同じように、私たちの心の中も、いろいろなことでいっぱいになってしまっていることがあります。

心配な事や悩みなどがあるかも知れません。また私たちの自分勝手な悪い思い、わがままであるとか、ねたみであるとか、赦せない思いなどもあるでしょう。

イエス様は、そんなたくさんのお客さんでいっぱいになっている私たちの心の中に入りたいと願っておられるのです。そしてたくさんのお客さんで苦しんでいる、私たちの問題を、「私が代わりに背負ってあげよう」、「考えてあげよう」、「あなたが背負っている問題は私が引き受けてあげます」、「あなたはその問題を下ろしていいのですよ」、と願っておられるのです。

みなさんの心の中は、どんな思いがありますか？たくさんのお客さんでいっぱいになっていて、イエス様を追い出しているということはないでしょうか？いま一緒にお祈りをして、イエス様を心の中にお迎えしましょう。

2. ヨセフさんとマリヤさんは本当に困っていました。でも、親切な宿屋の主人が家畜小屋を用意してくれました。ヨセフさんとマリヤさんは本当に助かったと思います。私たちも困っている人がいたら自分の出来ることをして助けてあげましょう。

教師ノート

週課	第一年 第一二課 第四週
単元	クリスマス
テーマ	羊飼いの証し
タイトル	すべての人を照らす光
テキスト	ルカ 2:1-20
参照箇所	
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ヨハネ 1:9
AG 日曜学校教案参照箇所	幼1「神様からの贈り物」、下2「最初のクリスマス」、上1「イエス様の誕生」、上2「イエス様の誕生」
□導入	<p>イエス様が生まれたのは、きれいな部屋ではなく、牛やロバのいる汚い家畜小屋でした。そして、イエス様が生まれたその日に喜んでお祝いした人は、ほとんどいませんでした。だけど、その日にイエス様に出会うことのできた人たちがいたのです。それは一体、誰でしょう？</p>
□ポイント1 羊飼いたちは町外れで羊を飼っていました	<p>イエス様はユダヤのベツレヘムという町で生まれました(6,7)。イエス様が生まれた夜、ベツレヘムの町には多くの旅人が宿屋に泊まっていました。それは、全世界で住民登録が行われていて、それぞれの先祖の町に戻って登録する必要があったからです。町中が多くの人で賑わっていました(1-3)。</p> <p>ところが同じ日の夜、多くの人で賑わっていた町から遠く離れて、寂しく過ごしている人たちがいました。それは羊飼いです。羊飼いたちは、野宿で夜番をしながら羊の群れを見守っていました(8)。いつも羊飼いは町外れに住んでいて、町の人々とあまり会うことのない仕事でした。町の人々が集まっているいろいろな話をしている、羊飼いはいつも町外れで羊を飼っていたので、新しい話を聞くことはあまりありませんでした。</p> <p>問い:羊飼いたちは、どんな気持ちで羊の番をしていたと思いますか？</p> <p>☞ 古代社会ではいわゆる「中産階級」は存在せず、ほとんどの人々は社会の下層に属していました。その中でも、特に羊飼いは軽蔑され、差別されていた人々の間でも不名誉を着せられることがありました(出典:山口雅弘「イエス誕生の夜明け」日本キリスト教団出版局、176-191 頁より)。</p>
□ポイント2 羊飼いたちは救い主の誕生を知りました	<p>そんな羊飼いたちのところに大ニュースを知らせにきた人がいました。それは、何と神様から遣わされた天使でした。天使が羊飼いたちのいた野原にやってきて、辺り一面が光に包まれました。その様子を見た羊飼いたちはとても怖くなりました(9)。</p> <p>天使は羊飼いたちに言いました。「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。きょうベツレヘムで、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。」(10,11)</p> <p>救い主イエス様が生まれた夜、ベツレヘムの町には多くの人々がいました。しかし、神様が最初にイエス様の誕生を知らせようとして選ばれたのは町の中にいた人ではなく、町外れに住んでいたこの羊飼いで</p>

たちだったのです。

問い: どうして神様は、イエス様の誕生を羊飼いたちに知らせたと思いますか？

□ポイント3 羊飼いたちは救い主に会いました

天使は羊飼いたちにイエス様の誕生を知らせた後、天に帰って行きました。それから羊飼いたちはお互いに言いました。「さあ、ベツレヘムに行って、神様が私たちに知らせてくださったこの出来事を見て来よう。」そして、羊飼いたちは救い主に会うため、町に急いで行きました(:15)。

羊飼いたちは町にたどり着いて、とうとう救い主イエス様を探し当てました。イエス様はお父さんのヨセフとお母さんのマリヤと一緒にいて、飼葉おけですやすやと寝っていました(:16)。

羊飼いたちは天使がイエス様の誕生を知らせてくれたこと、そしてイエス様が救い主であると言われたことを周りにいた町の人々に知らせました(:17)。町の人々は、目の前でかわいらしく寝ている赤ちゃんが救い主であるを知って、とてもびっくりしました(:18)。聖書の中で約束されていた救い主が、まさか目の前におられるとは夢にも思っていなかったからです。

羊飼いたちは天使が言ったことが本当であったこと、そして救い主にお会いすることができたことを喜んで、神様を賛美しながら帰って行きました(:20)。

- ☞ 教父ユスティノスは、イエス様がお生まれになった家畜小屋とは家畜避難用の洞窟であったと伝えています。また当時一般には、飼葉おけは石で作られていました(出典:『実用聖書注解』いのちのことば社、1099 頁より)。

□結論 羊飼いたちは救いの喜びに満たされました

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

イエス様は“すべての人を照らす光”です。イエス様はすべての人が救いの喜びに満たされるために、今も一人ひとりを招いておられるのです。イエス様が知らない人は誰もいません。もちろん、イエス様はあなたのことも知っておられます。あなたもイエス様を信じて、救いの喜びを受け取りませんか。

救い主に会った喜びがありますか？・・・1. 羊飼いのように救い主の誕生を知らせましょう。今年の教会のクリスマスに家族や友達を誘ってみませんか？2. 神様を賛美しましょう。以前の学課で新しい賛美を覚えようとお勧めしました。どの賛美が好きですか？

- ☞ 羊飼いたちが救い主に会うことができたということは、「やみの中を歩んでいた民は、大きな光を見た。死の陰の地に住んでいた者たちの上に光が照った。」(イザヤ 9:2)という預言の成就です。イエス様はすべての人々を漏れなく探し求められ、救いへ招いておられます。その救いへ「あなたも」招かれていると勧め励ましましょう。

教師ノート

週課	第一年 第一二課 第五週
単元	クリスマス
テーマ	シメオンとアンナの証し
タイトル	全世界の救い主
テキスト	ルカ 2:21-38
参照箇所	
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	イザヤ 49:6b
AG 日曜学校教案参照箇所	
□導入 <p>最初のクリスマスの日にイエス様に出会った人は、あまり多くありませんでした。ただ、実は、救い主イエス様がお生まれになることは、はるか昔から神様のみことば(聖書)によって約束されていたのです。それは、全世界にいるすべての人々が救い主イエス様を信じて、救われるためだったのです。</p>	
□ポイント1 ヨセフとマリヤはイエス様をつれて神殿に行きました <p>イエス様が生まれて八日目になりました。ヨセフとマリヤは聖書に記されている赤ちゃんのきよめの儀式を行い、名前を“イエス”とつけました。イエスという名前は生まれる前に、ヨセフにもマリヤにも同じく天使がつけるようにと言われていた名前でした(:21)。 ヨセフとマリヤは、聖書の教えを守る、信仰深い夫婦でした。彼らは聖書の定めに従って、イエス様をつれてエルサレムにある神殿に行きました(:22)。</p> <p>例:教会ではね、この時のヨセフとマリヤがイエス様を神殿に連れていったように、お父さんとお母さんが赤ちゃんを教会に連れてきて、「献児式」っていうのをするんだよ。教会の牧師やみんなに祝福を祈ってもらいます。例えば、〇〇ちゃんも赤ちゃんの時に献児式を教会でしました。</p> <p>☞ 出産後の母親のきよめの儀式についてはレビ12章、長男の聖別の儀式については出13:2,12-16、民18:15-16を参照。</p>	
□ポイント2 シメオンは神殿でイエス様に出会いました <p>エルサレムには多くの信仰深い人たちがいました。その中にシメオンという人がいました。シメオンはいつも神殿で神様を礼拝して、イスラエルの人々が救われることを祈り求めています。シメオンには聖霊がとどまっていた(:25)。またシメオンは、救い主を見るまで死なないと聖霊のお告げを受けていました(:26)。 イエス様がヨセフとマリヤに連れられて神殿にやって来た日にも、シメオンは聖霊に導かれて神殿に行きました。そして、シメオンは赤ちゃんのイエス様を見つけて、この方が救い主であるということがわかりました(:27)。 シメオンは、赤ちゃんのイエス様を腕に抱いて、神様をほめたたえて言いました。「主よ。今こそあなたは、あなたのしもべを、みことばどおり、安らかに去らせてくださいます。私の目があなたの御救いを見た</p>	

からです。御救いはあなたが万民の前に備えられたもので、異邦人を照らす啓示の光、御民イスラエルの光栄です。』(28-32)このようにして、シメオンはイエス様が“全世界の救い主”であると預言しました。

問い:シメオンは、どうしてイエス様が救い主だって分かったのでしょうか？また救い主を腕に抱いた時のシメオンの気持ちはどんな気持ちだったと思いますか？

☞シメオンの預言の内容は、今週の暗唱聖句「イザヤ49:6」において預言されています。

□ポイント3 アンナはイエス様が救い主であると語りました

エルサレムに住んでいた信仰深い人の中に、アンナという人もいました。アンナは年をとった女の預言者で、いつも神殿で神様を礼拝していました(36,37)。

イエス様が神殿に来られた時に、アンナも神殿にいて、イエス様に出会いました。そして、とても喜んで神様を賛美して、神様を礼拝するためにエルサレムにやってくる多くの人々にイエス様が救い主としてお生まれになったことを語りました(38)。

参考:「シメオン」には、「聞く」という意味があります。(「シモン・ペテロ」の「シモン」のヘブル語式読み方が「シメオン」です)「アンナ」は、「恵み」という意味があります。

□結論 イエス様が約束された救い主です

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

シメオンとアンナは、聖書の中で約束された神様の救いを待ち望んで、とうとう救い主のイエス様に会うことができました。そして、イエス様のことを多くの人々に伝えました。そのようにして今日に至り、日本に住んでいる私たちにもイエス様の救いが宣べ伝えられたのです。イエス様は全世界の人々の救い主です。私たちもイエス様の救いを伝えていきましょう。

1. イエス様に出会ったことを感謝しよう！・・・今年1年間もいろいろあったでしょう。(アンナも84歳までいろいろあったでしょう)でも、今、こうやって1年の最後の礼拝に来て、イエス様を信じていることを感謝しよう。
2. 来年こそ友達に「イエス様は救い主だよ」って宣べ伝えましょう。

教師ノート

週課	第一年 第一二課 第六週
単元	クリスマス
テーマ	礼拝
タイトル	東方の博士
テキスト	マタイ2:1-12
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) マタイ2:11
AG 日曜学校教案参照箇所	小上 3 巻クリスマス 小下 2 巻 2 題 2 課 幼 1 巻 2 題 5 課 幼 2 巻 2 題 5 課 幼 2 巻 2 題 6 課
□導入	今年みんなにとってどんな一年でしたか？ 先週はクリスマスでしたが、みなさんはクリスマスプレゼントをもらいましたか？ プレゼントをもらえるということは、とってもうれしいことですね。 クリスマスの日に、天の父なる神様が私たちに大切なプレゼントを下さいました。それはイエス様です。 今日は、そのイエス様にすばらしいささげものをした人たちのお話です。
□ポイント1 東方の博士たちは不思議な星を見ました	イエス様は、ユダヤのベツレヘムの馬小屋でお生まれになりました。そのベツレヘムからずっと遠い、東の国に、博士たちが住んでいました。 ある晩のことでした。博士たちは、自分たちの国で空をじっと見ていました。すると今まで一度も見たことのないような不思議な星を見つけました。 「みなさん、見て下さい。あの大きな輝く星を。」「ほんとうだ。なんて大きくて輝いている星だろう。きっと何かの知らせに違いない」 博士たちは、いろいろと調べてみました。そしてその星がユダヤの国に救い主が生まれたしるしであることをつきとめました。 博士たちは「ユダヤ人の王様が生まれたんだ。みんなでさがしに行こう」と言いました。 博士たちは長い旅行の準備をして、大きならくだの背中に乗って、西の方に向かって出発しました。 博士たちは、星をたよりにして何日も歩き続けました。暑い砂漠や、広い川を越えて、王様が生まれたと思う、エルサレムのそばまでやって来ました。
□ポイント2 東方の博士たちはエルサレムでヘロデ王に会いました	博士たちは、エルサレムに着くとヘロデ王の宮殿に行きました。そしてこのように言いました。「ユダヤ人の王として生まれた方はどこに居るのでしょうか？私たちは東の国で、その星を見て、拝みに来たのです」。 ヘロデ王は、もう一人の王様が生まれた、ということを知るととても不安になりました。それは自分だけが王様だと思っていたからです。そこで学者たちを呼んで、「預言者たちは、その子どもがどこで生まれると言っているのか」と聞きました。学者たちは皆、「ベツレヘムです」と言いました。 ヘロデ王は博士たちに、「行ってその子のことを詳しく調べてほしい。そして見つけたら戻って来て、私に教えてほしい。私もその王様を拝みにいきたいからね」と言いました。

ところが、ヘロデ王は、新しい王様を見つけたら拝みに行く、と博士たちに言ったのはウソでした。本当は別の計画がありました。それは、その新しい王様として生まれた赤ちゃんをすぐに殺してしまうつもりだったのです。しかしその計画は博士たちには秘密にしていました。

□ポイント3 東方の博士たちはイエス様にささげものをしました

博士たちはふたたび、らくだに乗ってあの星のあとについて、何キロか離れたベツレヘムへ行きました。

そしてついに、イエス様の居る家に着きました。家の中にはいってイエス様を見た博士たちは、ひれ伏して拝みました。

そして、黄金、乳香、もつ薬など、素晴らしい贈り物をさしあげました。博士たちは、イエス様にお会い出来たので、とても幸福でした。そして、やがてユダヤ人の王様になる人を見せて下さった神様に感謝しました。

その晩、神様は博士たちの夢の中で、「ヘロデの所へ行かないで、ほかの道から帰りなさい。ヘロデはこの子を拝むのではなく、殺そうとしている」と教えました。博士たちは夢で教えられた通りをして、ヘロデ王の所へは帰らずに、他の道を通って自分の国へ帰っていきました。

□結論 東方の博士たちは幼子イエス様を礼拝しました

適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

博士たちは、黄金、乳香、もつ薬などの宝物をイエス様にささげました。彼らは自分たちが準備できる一番良い物をささげたのです。私たちは、イエス様に何をおささげすることができるでしょうか？

神様の前で心から賛美することでしょうか？神様のご用のために献金をささげることでしょうか？毎週日曜日はかならず礼拝をささげることでしょうか？神様のすばらしさをお友達に伝えることでしょうか？

自分にできることを神様にお祈りをしてさがしてみましよう。イエス様はあなたのささげものを喜んで下さいます。